

新規化学物質カード(記載方法1-①)

別紙6

試験を実施していない箇所は斜線を引いてください。

※高分子フロッスキームの場合は記載方法2-①、2-②を参照してください。

有機溶媒等の溶解度でわかるものがあれば記載してください。

いずれかに○印をつけてください。

試験サンプルの不純物の含有率(%)を記載してください。
試験の種類によって試験サンプルの純度が異なる場合は各々記載してください。

記載しないでください。

情報が無い場合には「—」を記載してください。

できる限り2名記載してください。

新規化学物質カード

告示番号	届出番号	省 番	C A S No.	整理番号	()—
届出会社名		連絡担当者		(TEL — —)	
名 称		試験サンプル純度及び不純物	純度 %	備考	
外 観		分配係数(log Pow)試験 HPLC法・フラスコ法		備 考	
融 点		実施機関			
沸 点		試験期間 . . . ~ . . .			
密 度		解離定数			
対水溶解度		温 度 °C			
構造式(分子量)		試験結果	試験条件1	全平均	
			試験条件2		
			試験条件3		
分解度試験		濃縮度試験			
実施機関		試験期間 . . . ~ . . .			
試験期間		LC ₅₀ 値 (hr)	魚種		
試験濃度		設定濃度 ()	供試物質	助 剤	
供試物質 mg/l		第一濃度区			
汚 泥 mg/l		第二濃度区			
曝露期間 週間		脂質含量 開始時 %	魚種		
曝露期間 週間		終了時 %			
予定数量		試験結果	濃 度		
製造	初年 t, 2年目 t, 3年目 t	間 接	第一濃度区	倍 率 ()	
輸入	初年 t, 2年目 t, 3年目 t	直 接	第二濃度区	濃 度	
輸出(7条)	初年 t, 2年目 t, 3年目 t	間 接	第二濃度区	倍 率 ()	
工業製品としての純度及び不純物 純度 %		審議会			
		年 月 日			
		処理番号:			

原則としてIUPAC命名規則に従った名称を記載してください。名称の記載方法については別紙3を参照してください。

複数事業者が同時に同一物質の届出を行う場合、それぞれの届出事業者の内容を正しく記載してください。(①…、②…のように区別してください。)

正式な名称で記載してください。

出来る限り詳細に記載してください。用途分類(別紙8)の用途番号及び用途番号毎の用途全体に対する割合(例 01:60%)を併記して下さい。用途が複数ある場合は対応する番号をそれぞれ記載してください。なお、詳細用途分類(a,b,c等)は不要です。また、用途割合の合計が100%になるように記載してください。

不純物の名称及び含有率(%)とその不純物の製造、輸入、輸出のうち該当す新規・既存の別を記載し、既存化学物質等であるものに○印をつけてください。る場合はその化審法番号を記載してください。

BOD, HPLC, UV等の分析方法及び3点の測定値を()内にその平均値を記載してください。

処理番号を記載してください(審議会用資料の場合のみ)。
変化物がある場合は変化物分の新規化学物質カードを作成し、「(処理番号)の変化物」とし、複数ある場合は「(処理番号)の変化物1, 2…」と記載してください。

分配係数試験で濃縮性の類推を行うとする場合には、測定値及びその平均値を記載してください。

変化物で実施した場合は「(変化物)」と明記してください。

濃縮度試験を類推により届出をされる場合は、実施機関欄に「(類推)」と明記し、試験期間欄以下に斜線を引き、類推根拠を添付してください。

相談案件を事前に行った場合は、概要を記載してください。

取込機関の単位は任意(d, w 等)

新規化学物質カード(記載方法1-②)

試験を実施していない箇所は斜線を引いてください。

正式な名称で記載してください。

変化物で実施した場合、「(変化物)」と明記してください。

		変異原性試験		予想される廃棄方法
		Ames試験	染色体異常試験	輸送形態
実施機関				取扱い注意事項・非常時の取扱い方法
試験期間	. . . ~ . . .			
試験結果	陽性	陰性	陽性	陰性
判定理由	代謝活性化 比活性値		代謝活性化 D20値	
	あり	なし	あり	なし
	rev./mg		mg/ml	
28日間反復投与毒性試験				届出者の安全性所見
実施機関				
試験期間	. . . ~ . . .			
試験結果	動物種・系統			
	各群の動物数	♂	♀	
	投与方法			
	LD ₅₀ 値	♂	♀	
	NOAEL			
	NOAELの 推定根拠		届出会社における安全管理責任者 (TEL - -)	
			役職名	名前
			備考	
生態毒性試験				
	藻類生長阻害	ミジンコ急性遊泳阻害	魚類急性毒性	
実施機関				
試験期間				
毒性値				

労働安全衛生法の新規届出がなされている場合は、必ず記載してください。(公示番号も要記載)

複数事業者が同時に同一物質の届出を行う場合、それぞれの届出事業者の内容を正しく記載してください。(①…、②…のように区別してください。)

外国での届出がなされている場合はその旨記載してください。

低生産からの継続の場合低生産申出時の処理番号を記載してください。

溶媒も記載してください。

混餌投与、吸入試験等の場合は単位をmg/kg/dayに換算し、換算式を添付してください。

得られたすべての毒性値について実施機関及び試験期間を記載してください。

「高分子フロッスキームの場合」 新規化学物質カード(記載方法2-①)

試験を実施していない箇所は斜線を引いてください。

原則としてIUPAC命名規則に記載しないでください。

従った名称を記載してください。名称の記載方法については別紙3を参照してください。

複数事業者が同時に同一物質の届出行う場合、それぞれの届出事業者の内容を正しく記載してください。
(①…、②…のように区別してください。)

Mn、Mwを明記してください。(可溶成分のみの分子量ならばその旨を記載してください。)

構造式のほか、実際に製造・輸入するもの重合度及びモル比、重量比等を記載してください。

正式な名称で記載してください。

出来る限り詳細に記載してください。用途分類(別紙8)の用途番号及び用途番号毎の用途全体に対する割合(例 01:60%)を併記して下さい。用途が複数ある場合は対応する番号をそれぞれ記載してください。なお、詳細用途分類(a,b,c等)は不要です。また、用途割合の合計が100%になるように記載してください。

告示番号	届出番号	省番	CAS No.	整理番号	()-	
届出会社名	連絡担当者	(TEL - -)				
名称	試験サンプル純度及び不純物	純度 %	備考			
構造式(分子量)	外観	分配係数(log Pow)試験	HPLC法・フラスコ法		<p>高分子フロッスキームに基づく試験を実施</p> <p>と標記し、実施機関、試験機関及び構成モノマーを記載してください。構成モノマーが既存化学物質である場合にはその官報告示番号を記載してください。</p> <p>試験に用いた溶媒以外で溶解度のわかるものがあれば記載してください。</p> <p>相談案件を事前に行った場合は、概要を記載してください。</p>	
分子式	融点	実施機関	試験期間 . . . ~ . . .			
	沸点	試験結果	試験条件1			
	密度	試験結果	試験条件2			
	対水溶解度	試験結果	試験条件3			
用途	分解度試験	濃縮度試験	全平均			
	実施機関	実施機関	試験期間 . . . ~ . . .			
用途	試験期間	LC50値	(hr)	魚種		
	試験濃度	設定濃度	()	助剤		
用途	供試物質	第一濃度区	供試物質			
	汚泥	第二濃度区	助剤			
用途	曝露期間	脂質含量	開始時 %	魚種		
	曝露期間	終了時 %	試験結果			
用途	試験結果	間接	%	濃度		
		直接	%	倍率 ()		
	試験結果	間接	%	濃度		
		直接	%	倍率 ()		
工業製品としての純度及び不純物	純度 %	審議会	処理番号:			

情報が無い場合には「-」を記載してください。

できる限り2名記載してください。

試験サンプルの不純物の含有率(%)を記載してください。試験の種類によって試験サンプルの純度が異なる場合は各々記載してください。

いずれかに○印をつけてください。

製造、輸入、輸出の不純物の名称及び含有率(%)とその不純物のうち該当するものに新規・既存の別を記載し、既存化学物質等である場合はその化審法番号を記載してください。○印をつけてください。

記載しないでください。

処理番号を記載してください(審議会用資料の場合のみ)。変化物がある場合は変化物分の新規化学物質カードを作成し、「(処理番号)の変化物」とし、複数ある場合は「(処理番号)の変化物1、2…」と記載してください。

「高分子フローズキームの場合」 新規化学物質カード(記載方法2-②)

試験を実施していない箇所は斜線を引いてください。

正式な名称で記載してください。

他法令申請等により実施している場合は記載してください。

変化物で実施した場合、「(変化物)」と明記してください。

変異原性試験				予想される廃棄方法
	Ames試験		染色体異常試験	輸送形態
▶実施機関				取扱い注意事項・非常時の取扱い方法
試験期間	. . . ~ ~ . . .	
試験結果	陽性	陰性	陽性	陰性
判定理由	代謝活性化ありなし 比活性値 rev./mg		代謝活性化ありなし D20値 mg/ml	他法令適用関係 ←
28日間反復投与毒性試験				届出者の安全性所見
▶実施機関				
試験期間	. . . ~ . . .			
試験結果	動物種・系統			
	各群の動物数	♂	♀	
	投与方法			
	LD ₅₀ 値	♂	♀	届出会社における安全管理責任者 (TEL - -)
	NOAEL			
	NOAELの推定根拠	備考 ←		
生態毒性試験				
	藻類生長阻害	ミシコ急性遊泳阻害	魚類急性毒性	
実施機関				
試験期間				
毒性値				

労働安全衛生法の新規届出がなされている場合は、必ず記載してください。(公示番号も要記載)

複数事業者が同時に同一物質の届出を行う場合、それぞれの届出事業者の内容を正しく記載してください(①…、②…のように区別してください。)

外国での届出がなされている場合はその旨記載してください。

低生産からの継続の場合低生産申出時の処理番号を記載してください。

得られたすべての毒性値について実施機関及び試験期間を記載してください。